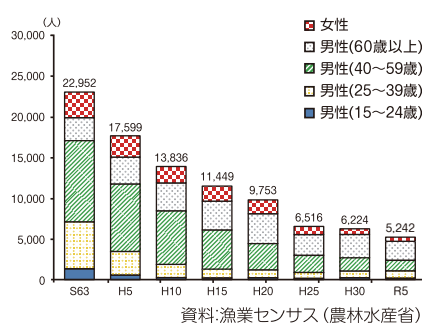


3 漁業担い手確保の取組

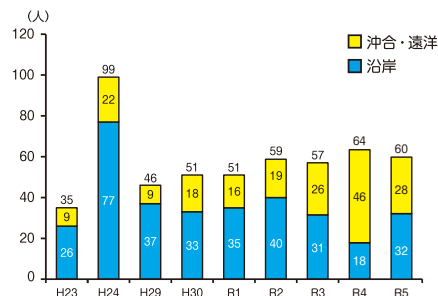
漁業就業者の現状

宮城県の漁業就業者数は、高齢化の進行や担い手不足等により年々減少していましたが、東日本大震災の影響によりその傾向は更に顕著となりました。そのため、水産業の担い手となる後継者の育成、新規漁業就業者の確保が喫緊の課題となっています。一方で、震災後の新規漁業就業者は増加傾向にあります。

■宮城県の漁業就業者数の推移



■宮城県の新規漁業就業者数の推移



※1 65歳未満

※2 H22のみ水産庁調べによる推定値

担い手確保に向けた取組

宮城県では、平成28年度から沿岸漁業及び沖合・遠洋漁業において、次世代を担う後継者の育成、新規就業者の確保・育成に向けた以下の取組を実施しています。

▶沿岸漁業の担い手確保対策

（公財）宮城県水産振興協会内に「宮城県漁業就業者確保育成センター（※1）」を設置し、漁業体験、漁労技術の習得、就労支援などについてワンストップで相談できる窓口を開設しています。また、海や漁業に興味のある方を対象とした「みやぎ漁師カレッジ短期研修」や、漁師を志す方、漁師の後継者等を対象とした「みやぎ漁師カレッジ長期研修（※2）」を開催し、将来の浜の担い手となる漁業者を育成します。みやぎの海で漁師を目指す皆様をお待ちしています。

※1 宮城県漁業就業者確保育成センター HP
（<https://www.ryoushi-miyagi.org/> または「みやぎの海で漁師になろう」で検索）

※2 みやぎ漁師カレッジ長期研修のPR動画は、右側のQRコードからご覧ください。



みやぎ漁師カレッジ
PR動画 (YouTube)



【みやぎ漁師カレッジ短期研修】

宮城の水産業に関する基礎知識やロープワークなどの座学、カキ・ワカメ・ホヤなどの養殖業や定置網、刺し網などの漁業現場体験を通じて、漁業への理解を深めます。



【みやぎ漁師カレッジ長期研修】

将来の就業を見据えて選択した研修先等での漁業現場研修や、宮城県の各種漁業や法制度、安全対策、ロープワークなどに関する座学研修を通じて漁労技術・知識の習得を目指します。また、漁業の現場で必要となる小型船舶操縦免許や海上特殊無線技士などの資格も研修中に取得します。（就業後おおむね5年以内の方が、漁業の知識や専門的な技術をより深く学ぶために参加いただくことも可能です。）



▶沖合・遠洋漁業の担い手確保対策

沖合・遠洋漁業の船舶職員不足、乗組員の高齢化に対応するため、漁協や漁業者等が行う、就業者または幹部船員の確保対策に対して支援を行っています。

【漁労技術習得】

遠洋マグロはえ縄船は数ヶ月から1年の航海となります。出港する前に陸上でロープワークなどの漁労技術を学びます。



※QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。